

「新たな雇用対策」関係

離職者訓練の実施規模の拡充

(職業能力開発局分)

課題

- 非正規労働者の解雇・雇止めがH20. 10～H21. 3の間3万人発生する見込み
(厚生労働省調査)
- さらに、派遣労働者2009年問題が懸念される



- 非正規労働者の多くは、製造業等において単純作業を行っており、技能が身に付いていない者が多い
- そのため、再就職に際して、安定した雇用 に就くためには、職業訓練を受講し技能を身につけることが必要
特に、今後雇用の受け皿として期待できる分野に係る職業訓練を受講することが求められる

(参考)

- 有効求職者数の増加
207万人(H19. 10) → 214万人 (H20. 10)
[有効求人倍率1. 07倍→0. 84倍]
- 職業訓練応募倍率の増加
1. 72倍(H19. 9) → 2. 04倍 (H20. 9)
[(独)雇用・能力開発機構の委託訓練の実績]
- 今後雇用の受け皿として期待できる分野
 - ・介護分野 [有効求人倍率1. 97倍、充足率24. 1%]
 - ・IT関連 [システムエンジニア:有効求人倍率5. 70倍、充足率4. 3%] (平成19年8月)

対応策

失業者の増加に備え、離職者訓練の定員を大幅に拡充 (民間教育訓練機関等への委託訓練)

(3. 5万人の増(平成21年度離職者訓練定員全体:約19万人))

1. 安定雇用に向けた長期訓練の実施(17, 500人)

左記の課題があることから、非正規労働者に、求人ニーズがある分野の技能を身につけさせる必要があるところ

今後雇用の受け皿として期待できる分野での安定雇用に向け、長期間の訓練を実施する

- ・介護分野 **9, 760人**(6か月及び2年訓練)
 - 6か月訓練 ホームヘルパー1級養成コース**6, 000人**
 - 2年訓練 介護福祉士養成コース**3, 760人**
 - (※ 従来の3か月訓練ではホームヘルパー2級の資格取得に留まる)
- ・IT関連 **5, 240人**(6か月訓練)
 - 6か月訓練 Java等プログラミング系資格取得
 - (※ 従来の3か月訓練ではエクセル・ワードの基本的操作の習得に留まる)
- [注] 上記は、都道府県において実施するものであり、このほかに(独)雇用・能力開発機構において**2, 500人**の標準6か月訓練を実施

2. 3か月訓練定員の拡充(17, 500人)

有効求職者の増加等により、職業訓練の需要が増大すると見込まれることから、既存の3か月訓練についても拡充を図る

- ・介護分野 **2, 730人**
3か月訓練 ホームヘルパー2級養成コース

など